

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

CASBEE札幌



評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	白石区複合庁舎	階数	地上7F、地下2階
建設地	札幌市白石区南郷通1丁目南22-1	構造	SRC造・RC造・S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	3,654 人
気候区分	1地域	年間使用時間	6,935 時間/年
建物用途	事務所、学校、集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年9月 予定	評価の実施日	2016年4月27日
敷地面積	4,251 m ²	作成者	大門、奥田、早川、中嶋
建築面積	2,624 m ²	確認日	2016年5月27日
延床面積	16,152 m ²	確認者	菅原秀見



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 2.4

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100% (kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み: 76%

③上記+②以外の: 76%

④上記+: 76%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.8

音環境	3.7
温熱環境	3.2
光・視環境	3.8
空気質環境	4.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 4.2

機能性	4.5
耐用性	4.3
対応性	3.6

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 3.8

生物環境	2.0
まちなみ	5.0
地域性	4.0

LR のスコア = 3.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

建物外皮の	1.3
自然エネ	4.0
設備システ	5.0
効率的	4.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.8

水資源	3.8
非再生材料の	3.9
汚染物質	3.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

地球温暖化	3.9
地域環境	3.2
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項

総合		
<p>・ 区民のコミュニティ活動を活性化させる交流拠点をつくる</p> <p>・ わかりやすく使いやすい区民サービスの場をつくる</p> <p>・ 環境首都を宣言する札幌市の新しい公共施設として環境に配慮した庁舎をつくる</p> <p>・ 地域の防災拠点、災害対策拠点として、災害発生時に効率的かつ効果的な活動ができる庁舎をつくる</p>		<h4>A 省エネルギー</h4> <p>・ エコポイド(吹抜空間)によって、南からの採光を取り入れるとともに風の道をつくっている</p> <p>・ 太陽光パネルを設置</p>
<h4>B 省資源等</h4> <p>・ 節水型機器を採用している</p> <p>・ エコマーク商品を採用している</p>	<h4>C 緑化</h4> <p>・ 正面のアプローチ空間は壁面を後退させ、緑化を積極的に行っている</p>	<h4>D 雪処理</h4> <p>・ 市民の動線となる場所にロードヒーティングを採用している</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される